

# SHOWA UNIVERSITY NEWS



11

NOV. 2022

昭和大学新聞

通巻 第610号  
(奇数月10日発行)

昭和大学新聞の  
リニューアル発刊に寄せて  
小口勝司 理事長・久光正 学長





# 新装・昭和大学新聞「SHOWA UNIVERSITY NEWS」の発刊に寄せて



小口 勝司  
OGUCHI KATSUJI  
学校法人昭和大学理事長

**昭**和大学新聞は昭和47年1月の創刊以来、50年の歴史の節目となる今号で、装いを新たに「SHOWA UNIVERSITY NEWS」として皆様のもとへお届けすることとなりました。カラー誌面となり、大学の行事や出来事、学生・職員のいきいきとした活躍の様子をより鮮明にお伝えしてまいりますので、昭和大学の今を語る「声」をお手に取って楽しんでいただければと思います。

さて、縦書きの紙面でお伝えした昭和大学新聞609号分の「声」は、その節目を振り返れば大変趣深いものがあります。第61号（昭和52年）での歯学部新設では5年間の宿願が叶った喜びの言葉が伝え

られました。第100号（昭和55年）で「富士吉田の春開く」と題された入寮式の記事では「医師にアマチュアはなく、『プロとは何か』をこの一年かけて考えてほしい」と訓示があったことが記されています。

新年号を初めてカラー紙面にした第157号（昭和60年）の1面を飾った富士山の写真は実に壮観でした。第305号（平成9年）の70周年式典・祝賀会および昭和大学病院中央棟の竣工披露では、式典での記念公演で多くの聴衆が割れんばかりの喝采を博したこと、病院に導入された最新機器に見学者から感嘆の声が上がったことなどをその場に居合わせたような臨場感で伝えています。

様々にお届けしてきた昭和大学の「声」を礎に、94年の長い歴史を持つ昭和大学に寄り添い、情報発信の基盤としていっそうの成長を目指してまいります。

新しい姿の昭和大学新聞「SHOWA UNIVERSITY NEWS」もご愛読くださいますよう、お願い申し上げます。

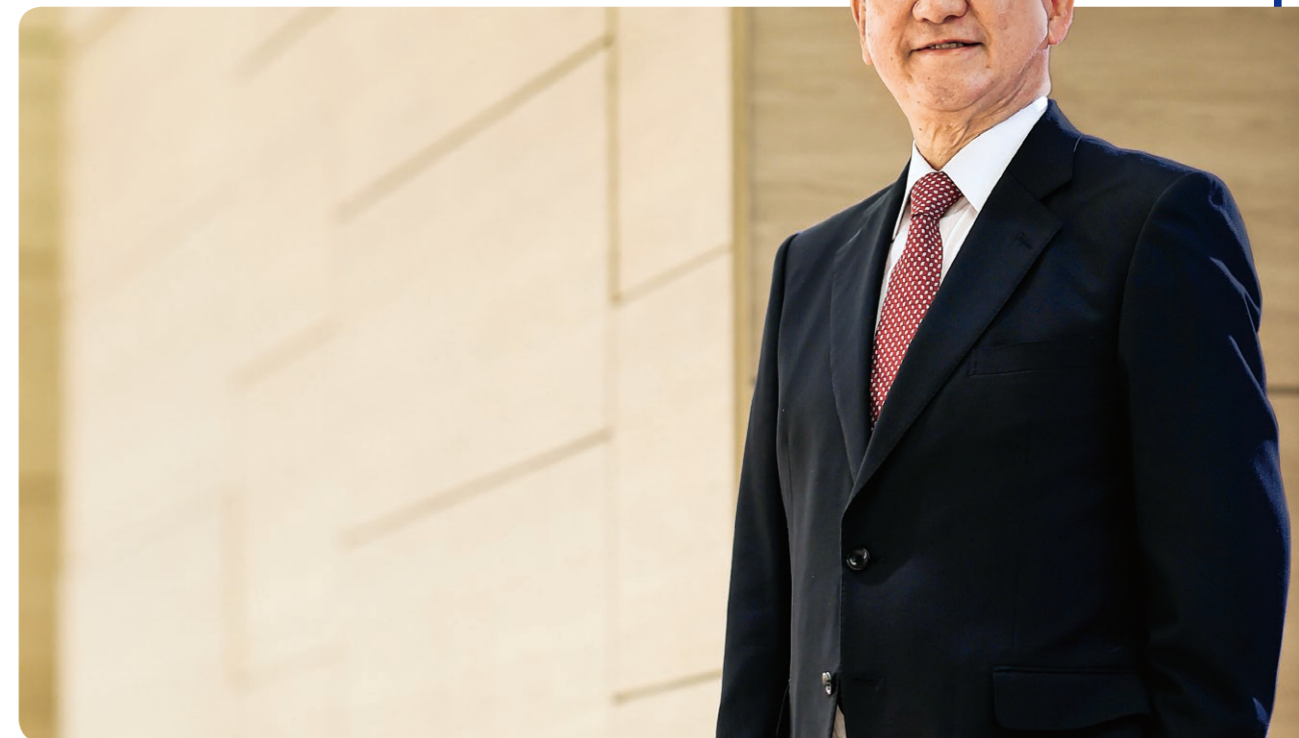
**多**くの方々のご協力により、昭和大学新聞を新装し「SHOWA UNIVERSITY NEWS」を発刊することができました。

単色で大判の新聞形式から、多くの写真を添えたカラーの冊子形式になりました。法人・大学・病院など、各施設における活動に注目し、これまでよりも多くの情報を掲載します。今後は「SHOWA UNIVERSITY NEWS」を通して、昭和大学に関わる職員、学生、保護者、同窓生ほか多くの方々に、本学の現在・未来をご理解いただけるものと思います。

昭和大学における新聞広報の歴史は昭和10年に創刊された昭和醫専学友新聞に始まります。その後、昭和醫専新聞、昭和醫大新聞、昭和医科大学新聞、昭和大学新聞と引き継がれてきました。昭和45年7月、大学紛争の影響で一旦、昭和大学新聞は廃刊に追い込まれましたが、昭和47年1月に新理事会により、学内外への正確なかつ建設的な情報公開を目的に新たな昭和大学新聞が刊行されました。このたびの「SHOWA UNIVERSITY NEWS」は、この昭和大学新聞のリニューアルであります。これまで以上に多くの皆様にお読みいただき、親しんでいただくことを願っています。

ご愛顧の程、よろしくお願いいたします。

久光 正  
HISAMITSU TADASHI  
昭和大学学長



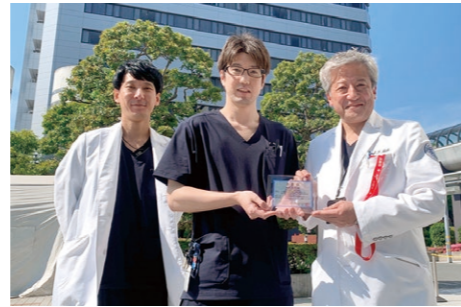


2022.4.14~16

受賞・表彰 医学部 昭和大学病院

## 優秀演題賞を受賞 肺癌の副腎転移に対する症例を報告

内田祐介さん(臨床研修医)が第122回日本外科学会定期学術集会(4月14日~16日:熊本市・オンライン同時開催)の研修医セッションにおいて「下大静脈浸潤を伴う肺癌右副腎転移再発に対して治療切除し得た1例」で優秀演題賞を受賞した。肺多型癌は悪性度が高く遠隔転移の頻度も多いとされているなか、内田さんは、未分化型Pleomorphic carcinomaの右副腎転移に対し、右副腎、右腎臓、肝後区域、下大静脈合併切除を施行し治療し得た症例について文献的考察を加えて報告した。



左から、富岡幸大助教、内田祐介さん、青木武士教授

### 【内田祐介さんのコメント】

この度は青木武士教授、富岡幸大助教、田代良彦講師をはじめとする消化器一般外科学部門の先生方や臨床病理診断学講座の先生方のご指導、患者さんをご紹介いただきました腫瘍内科の先生方、治療の際にコラボレーションさせていただいた心臓血管外科、泌尿器科の先生方のご支援を賜りまして、日本外科学会定期学術集会で優秀演題賞をいただき大変光栄に存じます。人生で初めての学会発表であり、抄録作成・演題登録からスライド作成まで一から富岡先生をはじめ多くの先生方のご指導のもと、医局での予演会を通して本番に向けて準備をすることができました。私は肝胆膵外科医を志しておりますが、今回の学会を通じて臨床医として一人の患者さんを治療するだけでなく、今後の医療に活

かしていく研究の重要性も学ぶことができました。消化器・一般外科をローテートさせていただき、多くの手術症例や毎週月曜日のJournal clubでは非常に勉強になる論文の共有があり、文献検索方法や最新の知見を得ることができ充実しておりました。

今回の学会に参加させていただいたことで、将来臨床だけでなく研究にも励む外科医になれるよう今後の研修に邁進していく所存であります。

最後になりますが、この度は初学者である私にお忙しい中の貴重な時間を割いて指導に当たってくださいました先生方には改めて感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。



2022.8.19

上條記念ミュージアム 地域・一般

## 「治験ってなあに？」 治験の理解を深める企画展、 上條記念ミュージアムで開催

8月19日、昭和大学上條記念ミュージアムにて、昭和大学臨床薬理研究所主催の夏休みスペシャル企画展「治験ってなあに？」を開催した。

今回は、日本医師会 治験促進センター様にご協力いただき、小学生向けに「おくすりか誕生するまで」を分かりやすく解説して頂いた。そして、薬剤師模擬体験として、薬包紙の折り方がレクチャーされ、参加した小学生に実際にラムネを入れて薬包紙を折る体験を行った。

企画展終了後、参加者は上條記念ミュージアム常設展を見学した。本学学生の案内により、創立者・上條秀介博士や大学のキャンパス、附属病院などについての説明を受け、小学生を含む全員が熱心に耳を傾けていた。

このイベントを通して、「昭和大学の事を知ることができた」「将来、薬剤師になりたいと思った」などの感想を多くいただいた。本企画展が、児童のみなさんの夏休みの思い出の一つになれ



ばと思う。

本イベントは、この日のほか計4日間で8回開催され、延べ57名が参加した。

上條記念ミュージアムでは、次回企画展として「学生クラブの歴史紹介」第2弾が予定されている。

2022.8.22

## 質の高い指導者養成に向けて 保健師・助産師・看護師の 実習指導者講習会を開講

8月22日、昭和大学横浜キャンパスにて神奈川県保健師助産師看護師実習指導者講習会・昭和大学保健師助産師看護師実習指導者講習会の合同開講式を執り行った。

本講習会は効果的で質の高い実習指導を行える指導者を養成し、看護基礎教育の質の向上を図ることを目的として行っている。

鈴木久義 昭和大学保健医療学部長は「学生教育・指導は、無原則に行われてはならないと思います。卒前教育で教育心理学・学習心理学等の教育指導に関する学修をされているかと思いますが、今一度、このような知見が学生指導の理論的背景になっているということを再確認しながら、学修してもらいたいです」と、開講の挨拶を述べた。

続いて、田中晶子 保健医療学部 看護学科主任は挨拶で「新し



開講式会場の様子

い環境に身を置いて、今まで気が付かなかった側面を気づかせてもらえるような仲間づくりをしてもらいたいです。この研修会で出会った仲間とともに、今後良い関係を継続し、対話を続け、学びを継続してもらいたいです」と述べた。

来賓挨拶では、増田千鶴子 学校法人昭和大学統括看護部長が「“教わりたい”と思ってもらえる指導者になってもらいたいです。将来活躍する看護師を育てる第一歩のお手伝いができる皆さんの役割は大きな意味があります。4か月後、どんなことを教えられる指導者になれるか、今まで学んだこと、反省したことを活かして、看護師・指導者として成長し、現場での活躍を願っています」と述べた。最後に、受講生一人ひとりの名前が紹介され、閉式となった。

今後は、8月から12月まで週2回、講義・演習・実習等が行われる予定。



鈴木久義 保健医療学部長 田中晶子 看護学科教授 増田千鶴子 統括看護部長

2022.8.22

受賞・表彰 医学部 昭和大学病院

## HPVワクチンの効果に関する研究報告 国内初のエビデンスを示すとともに AMEDにて継続採択される

松本光司教授(医学部産婦人科学講座)の研究課題「思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究」が、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)による「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」(令和4年度~6年度:予定配分総額7350万円)に採択された。松本教授の研究課題は、同事業の令和元年度~3年度(配分総額4190万円)にも採択されており、その成果が認められ今回も継続して採択された。

### 【松本光司教授のコメント】

本研究は、子宮頸がんを予防するヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの有効性評価を行う多施設共同疫学研究です。これまでの研究成果(Cancer Sci. 2019; 110: 3811-20)は、第69回厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会, 2021年10月1日開催)の資料2-1においてHPVワクチンの有効性に関する最新のエビデンスとして引用されています。

さらに最新の研究成果としては、「HPVワクチンの効果は接種年齢によって大きく異なり、15歳までもしくは初交前に接種すれば非常に強力な予防効果が得られること」(Cancer Sci 2022; 113:

1428-34)、「ワクチン接種率が高い世代では未接種者にも集団免疫効果が見られること」(Vaccines 2022; 10: 188)を報告しました。これらの成果はいずれも我が国で初めてのエビデンスです。我が国のHPVワクチン接種プログラムにおいて接種対象年齢の見直しやキャッチアップ接種の効果について提言する重要な成果と評価されています。

今後は、我が国初の子宮頸がんに対するワクチン効果のエビデンスと発症予防に必要な血清抗体価について報告したいと考えています。



AMEDウェブサイトより 松本光司教授



## 夏の終わりを告げる風物詩 「吉田の火祭り」に今年も大松明を奉納

8月26日、日本三奇祭の一つ「吉田の火祭り」が山梨県富士吉田市で開催され、今年も昭和大学富士吉田校舎として大松明を奉納した。昨年はコロナ禍のため、関係者のみの斎行となったが、今年は参加者が祭礼を楽しむ様子が見られた。この祭りは高さ3メートルの筍形に結び上げられた大松明に火を灯して、富士登山の山じまの祭りとして知られており、富士吉田市の夏の終わりを告げる風物詩である。

北口本宮富士浅間神社近くの道沿いに90本以上の大松明が立ち並び、小口勝司理事長、久光正学長ら大学関係者が出席し、昭和大学富士吉田校舎の名が入った大松明に火を灯した。



1 (左から) 久光正学長・小口勝司理事長 2 立ち並ぶ大松明

## 電子顕微鏡室主催のイベントで 顕微鏡の仕組みなどを紹介

8月28日、旗の台キャンパス16号館にて、昭和大学電子顕微鏡室主催の「子供のサマースクール」を開催した。これまで、「電子顕微鏡室 夏の学校」として開催していたが、コロナ禍のため中止となり、3年ぶりの開催となった。

当日は、日本電子株式会社様にご協力いただき、子ども向けに「のぞいてみようミクロの世界」と題し、顕微鏡の構造や種類、いろいろな花粉の紹介など、クイズを交えて楽しく解説していただいた。このほか、立体写真（三次元；3D）を二色メガネで見ると物が浮き上がって見える体験コーナーや持参した物を顕微鏡で見てみるコーナーも用意され、参加した子供たちからは驚きの声が上がっていた。



1 竹を拡大した画面に驚きの参加者 2 体験コーナー：立体写真 3 大人のサマースクール

また、今回は、日本顕微鏡学会の「第32回電顕サマースクール」との同時開催ということもあり、別会場では「大人のサマースクール」も開催した。こちらは、株式会社日立ハイテク様にご協力いただき、大人を対象として、電子顕微鏡の説明や観察例の紹介、実機を使った器官・臓器の観察が行われた。

## 富士吉田キャンパスに活気戻る 1年次後期寮生活がスタート

7月28日から夏季休暇のため一時退寮していた各学部の1年生が、9月1日より後期の寮生活をスタートした。

後期は、初年次体験実習や各種イベントが予定されており、12月の完全退寮まで約4か月間の寮生活となる。

学生たちは、8月29日～30日にかけて分散帰寮となり、それぞれの帰寮日に事前配布された抗原検査キットを用いて自宅で陰性確認をし、富士吉田キャンパスに向かった。

そして、富士吉田キャンパスに到着後、改めて抗原検査を行い、陰性が確認された学生が各寮へと戻って行った。

学生たちが戻ったキャンパスでは、学生たちの笑い声など活気が溢れていた。



1 2 帰寮した学生たち 3 検体採取する学生

## タイのワライラック大学から 教員・学生20名が来校 学内見学や文化交流を行う

9月14日、ワライラック大学（Walailak University／タイ）から教員・学生あわせて20名が保健医療学部（横浜キャンパス）に来校し、本学教育職員・理学療法学科の学生と交流した。両校の紹介と記念品の交換を行った後、教員は4グループに分かれ学内見学をし、本学の特徴である学部間連携実習見学をはじめとした教育プログラムの紹介を受けた。

学生達は自己紹介ですっかり打ち解け、アクティビティでは両国の文化や特徴を写真で説明するなど、笑顔の溢れる楽しい交流を持つことができた。

短い時間の中で、大変充実した国際交流の機会となった。



1 記念撮影 2 学生交流 3 ワライラック大学の皆さま 4 終了後の学生たち

## 臨床実習への決意を新たに 令和4年度医学部白衣授与式

9月21日、上條記念館で令和4年度医学部白衣授与式を挙行了した。

同式は、臨床実習を目前に控えた医学部4年生が倫理観や患者さんに対する思いやりの心を再認識して、医師を目指す者としての心構えを新たにす目的で毎年実施している。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、必要な措置を講じたうえ、対象学年107名と人数を制限した参加者のみで執り行った。

小風暁医学部長は告辞で、コロナ禍でオンライン・オンデマンド学習へ柔軟に適應した学生をダーウィンの進化論にある『生き残る種は最も強いものでも最も知的なものでもなく、変化にもっともよく適應したものである』という名言を用いて労い、「本日の白衣授与式はただの儀式ではなくプロフェッショナル教育の一環です。真新しい白衣に袖を通し、医師を目指した想いを再度確認し、スチューデントドクターとして志を高く強く持ってほしいと思います。皆さんが臨床実習に真摯に取り組み、将来、至誠一貫を体現できる医師に成長できることを大いに期待しています」と述べた。

その後、4年生一人ひとりに教育職員から白衣が授与された。学生たちは真新しい白衣に袖を通し、これから始まる臨床実習への決意を新たにした。

列席者からの祝辞では、小口勝司理事長をはじめ久光正学長、小笠原京子江東豊洲病院看護部長から激励の言葉があった。笠間毅江東豊洲病院長からは、「皆さんが4年前、大学生活をスタートさせた富士吉田キャンパスがある山梨県（甲斐国）の知将・武田信玄は『真剣に物事に向き合えば知恵が出る、中途半端に向き合えば愚痴が出る、いいかげんに向き合えば言い訳が出る』という言葉を残したそうです。もし、実習中の皆さんから言い訳



1 白衣授与 2 記念撮影 3 凛々しい姿のスチューデントドクターたち

や愚痴が出れば、我々病院のシステムが未熟だと自戒を持ちながら、そうした言葉が出ないようにしっかりサポートしていきますので、これからの病院実習を楽しみにしててください。約3,100の病床を持つ7つの附属病院で皆さんをお待ちしております」と充実した実習を願う祝辞が寄せられた。

続いて「先輩からの言葉」と題して臨床研修医代表の黒岩魁さんから患者さんとの関わり方など、臨床実習での心得などについて講話があり、学生たちは熱心に耳を傾けていた。

最後に代表者による昭和大学宣言を行い、医療人としての誓いを新たにし、閉式となった。

これから卒業まで、学生は本学附属病院および関連実習施設における実習課程で研鑽を重ねていく。



## 大学院 秋季修了式 25名に学位記を授与

9月22日、令和4年度昭和大学大学院秋季修了式を上條記念館で挙行了。

新型コロナウイルス感染防止のため、必要な措置を講じたうえ、修了生と人数を制限した参加者のみで執り行った。今年度は医学研究科15名、歯学研究科4名、薬学研究科3名、保健医療学研究科博士前期課程3名が全課程を修了し、各研究科の代表者に久光正学長から学位記が授与された。

久光学長は告辞で「大学院はこれまでの知識を基に新しい技術・知見を見つけ出す、ゼロから何かを見つけ出すことが求められる分野です。1つのステップを乗り越えましたが、今後も引き続き研究・研修を続けて、知見を深め、新しい分野で活躍してもらいたいと思います。そして、さらに後継となる人材を育てて社会に貢献してもらいたいです。皆さんの今後の活躍、教育への貢献を期待しています」と述べた。

続いて、小口勝司理事長の祝辞、各研究科長からは挨拶とともに今後の研究等のあり方について講話があった。

そして、修了生代表による昭和大学宣言、校歌斉唱（清聴のみ）が行われ、閉式となった。



1 学長告辞 2 学位記授与  
3 医学研究科 4 歯学研究科  
5 薬学研究科 6 保健医療学研究科



## 薬学部学位記伝達式 6名の卒業生が2月の国試へ

9月22日、令和4年度昭和大学薬学部卒業式・学位記伝達式を上條記念館で挙行了。

卒業生6名が全課程を修了し、久光正学長から代表者に学位記が授与された。

そして、久光学長からの告辞、小口勝司理事長からの祝辞があった後、中村明弘薬学部長は挨拶で「大学を卒業するために必要な知識・技能・態度をしっかり身に付け、そして友人との思い出、周りの方々としっかりと関係性を築き、いよいよ社会の中での活動を目指していきます。2月の国家試験に向けて苦しく辛いと思いがちかもしれませんが、将来役に立てる知識を一つ一つ確実に身に付ける貴重な時間なんだと、ポジティブに取り組んでいてほしいです」と述べた。

その後、稲垣雅彦薬学部同窓会長、平井康昭父兄会副会長からそれぞれ記念品贈呈、卒業生代表による昭和大学宣言、校歌斉唱（清聴のみ）が行われ、閉式となった。



1 学位記授与 2 挨拶する中村薬学部長  
3 記念撮影



## リカレントカレッジ 秋期入学式・開講式 社会人135名が知の探究に臨む

10月1日、上條記念館にて令和4年度昭和大学リカレントカレッジ秋期入学式・開講式を挙行了し、135名が入学した。

新型コロナウイルスの感染防止のため、オンラインを併用しての開催となったが、昭和大学管弦楽団の演奏により、華やかな開式となった。

小川良雄プリンシパルは式辞で「リカレントカレッジは、社会人の皆さまとともに一緒に学びの場を作りたいというコンセプトの下、開講されました。秋期29プログラムでは、医学のみならず、フィールドワーク、専門性を強める歴史・文化など、それぞれ魅力的なプログラムとなっております。これからの6か月間の学びが皆さまにとって有意義なものとなり、人生の糧となることを祈念します」と述べた。また、小口勝司理事長、久光正学長より、知の探究に臨む入学生に対し、激励を込め祝辞が寄せられた。

今後、入学者は多彩なカリキュラムを受講し、学びを深めていく。



1 昭和大学管弦楽団による演奏 2 式辞：小川良雄プリンシパル 3 講師紹介

## 総勢18名が新たな知の創造者を目指す 大学院秋季入学式

10月3日、令和4年度昭和大学大学院秋季入学式を上條記念館で挙行了。

今年度は医学研究科10名、歯学研究科1名、薬学研究科2名、保健医療学研究科の博士前期課程3名、同後期課程2名が入学した。

久光正学長は告辞で「大学院は、新たな知を創造し、技術を作り出すことが大切な目的になります。これから様々な分野で、未知の領域を発見し研究する中で、新事実が見つかるでしょう。そして、論文として世に公表し、それが、学問・知識等に貢献することにつながります。大変ですがやりがいがある、それが大学院です。素晴らしい日々を過ごされることを期待しています」と述べた。

続いて、小口勝司理事長の祝辞、各研究科長からは挨拶とともに研究の進め方等についてのアドバイスがあった。

新入生代表による昭和大学宣言と校歌斉唱（清聴のみ）の後、閉式となった。入学式終了後は、研究科ごとにオリエンテーションが行われた。



1 祝辞：小口勝司理事長 2 医学研究科 3 歯学研究科  
4 薬学研究科 5 保健医療学研究科

Follow Showa

昭和大学広報担当では日々のお知らせや大学キャンパス、各附属病院のイベント情報などをTwitter、Instagramで発信中です。凛々しく研鑽に励む学生・職員の皆さんの姿や四季折々のキャンパス風景など、明るく元気にお伝えしていきますので、ぜひ昭和大学の「いいね！」な出来事と一緒に楽しみください。



Twitter



Instagram

SHOWAUNIV.PRESS





# Press Release

昭和专业では最新の研究結果を外部（マスメディア）に発信しています。  
ここでは、プレスリリースとして発信した記事を紹介しします。

## ヨーロッパでチーズの熟成に用いるダニを解析 500km離れた工房であっても同種であることが判明



### 法

政大学の島野智之教授、昭和专业の蛭田眞平准教授（富士山麓自然・生物研究所）、京都先端科学大学の清水伸泰教授らによる共同研究チームが、チーズの熟成に用いるダニをドイツとフランスの3つの産地のチーズ工房から採集し形態情報と遺伝子解析によって調べたところ、いずれもチーズコナダニ *Tyrollichus casei* (Oudemans, 1910) という種であった。また、それらのチーズコナダニの遺伝構造を詳細に解析した結果、チーズの産地間が互いに500km以上離れているにもかかわらず、地理的な血縁関係の隔たりは見られなかった。

### ■発表のポイント

- ヨーロッパの伝統的製法としてチーズの熟成に用いられているダニを、ドイツとフランスの3つのチーズ工房などから採集して調べたところ、いずれもチーズコナダニ *Tyrollichus casei* (Oudemans, 1910) という種であった。
- それぞれの熟成庫のチーズコナダニの遺伝構造を解析した結果、互いの産地間が500km以上離れているにもかかわらず、地理的な血縁関係の隔たりは見られなかった。
- 熟成にダニを用いるチーズには独特の風味があるといわれているが、チーズコナダニからは“レモン香”の1成分であるネラールが検出された。同物質はフェロモンや抗カビ効果としてダニが分泌している可能性がある。一方でアーティズー（チーズ）自身からダニ由来のネラールは検出されなかった。このため、ダニはチーズへの直接的な風味付けには寄与していないと推測される。

### ■ダニを熟成に用いるヨーロッパの伝統的なチーズについて

ヨーロッパには、何世紀にもわたる伝統的な製法として熟成にダニを用いるチーズがある。このダニはコナダニ類で、18世紀半ばからバスカルの『パンセ』やイソップ寓話などを集めたラ・フォンテーヌの『寓話』など、フランス文学にもたびたび登場している。島野教授ら共同研究チームは、ドイツ・ライプチヒ郊外ヴェルヒヴィッツのミルベンケーゼ (Milbenkäse / Milben=ダニ、Käse=チーズ。ダニ・チーズの意)、ベルギーとの国境に位置するフランス・フランドル地方のミモレット (Mimolette)、フランス中央高地・オーベルニュ地方のアーティズー (Artisou) の3つのチーズ工房の熟成庫から直接、それぞれのダニを採集。また、オーベルニュ地方のライオル (Laguiole) と、パリや日本のチーズ専門店で購入した履歴のしっかりしたミモレットからも同様にダニを採集し、形態情報と遺伝子解析によって調べた。



1 ミルベンケーゼの熟成庫（ドイツ・ライプチヒ郊外） 2 ミモレットの熟成庫（フランス・フランドル地方） 3 アーティズーの熟成庫（フランス中央高地・オーベルニュ地方） 4 チーズコナダニ（写真撮影：根本崇正氏）

すると、ヴェルヒヴィッツ、フランドル地方、オーベルニュ地方で熟成されたチーズに用いられているダニは全て、チーズコナダニ *Tyrollichus casei* (Oudemans, 1910) という種であることが判明した（※学名の *casei* は「チーズ」の意味）。

なお、フランスでは熟成されたチーズに意図せずダニが付くこともあるが、今回、パリの市場（マルシェ）で購入したチーズには、チーズコナダニとは別種のアシプトコナダニなどが多く付着していた。

### ■異なる地域のチーズから

#### 同一種のダニが採集された調査結果について

近年、テロワール (terroir) と言う言葉が広まっているが、もとは「土地」を意味するフランス語の terre (英 earth あるいは land) から派生した言葉で、ワインの味わいに関係するブドウの生育地の土壌、気候、風土、人的要因など、土地固有の環境要因を意味する。また、日本酒には「蔵付き酵母」として、醸造蔵に棲み着いている酵母によって独自の風味が出るとする考え方もある。

採集・解析によって、何世紀にもわたって熟成過程で使い続けてきた工房のダニが、チーズコナダニという種であることはわかった。それでは、「蔵付き酵母」ならぬ「蔵付きダニ」は厳密な意味で代々その地域で育てており、それぞれの土地固有あるいは熟成庫固有のダニ系統が存在しているのだろうか。

研究チームは、3つの産地の5つのチーズのチーズコナダニについて、超並列DNAシーケンサーを用い、MIG-seq法によって、それぞれの遺伝構造を解析した。その結果、ドイツ東部、フ

ランス北部、そしてフランス中南部と、各産地は500km以上離れているにもかかわらず、地理的な血縁関係の隔たりは見られなかった。

遠く離れた伝統ある3つのチーズ産地の熟成庫で、チーズコナダニという種が唯一、熟成に使われていることになるが、もちろん人間が意図して選んで同種を使用していたわけではない。ダニの遺伝子に地理的な差が見られない理由を明瞭に説明することはできないが、いくつかの可能性は考えられる。

たとえば、ローマ時代にはすでにケルト人に育まれた熟成チーズが広くヨーロッパに輸出されていたことがわかっており、冷蔵庫がなかった時代にチーズと共にチーズコナダニもヨーロッパ全体に広まったものの、その後、時代の推移や管理手法の発達によって多くはなくなり、ダニが好まれるチーズ工房でしか生き残っていないという可能性が推測できる。あるいは、ミツバチの古巣でチーズコナダニが多数みつかる事例があることから、ミツバチによって遺伝的なシャッフルが起こされた可能性なども考えられる。

### ■チーズの熟成におけるダニの影響について

熟成にダニを用いるチーズには独特の風味があるといわれている。研究チームは、チーズコナダニから“レモン香”の1つの成分であるネラールをガスクロマトグラフ質量分析計で検出した。この物質は、フェロモンや抗カビ効果としてダニが分泌している可能性がある。

また、3つのチーズのうちのひとつ、アーティズー自身からこのネラールが検出されるかどうかを調べたが、検出されなかった。このため、ダニがチーズへの直接的な風味付けに寄与してはいないと推測される（ただし、ミルベンケーゼとアーティズーはダニの付いている外側も一緒に食べるため、独特の風味が感じられる）。一方で、球形で全体がバスケットボールほどの大きさのチーズであるミモレットの場合は外側は食べないが、ダニが外皮に穴を開け表面積を増やすことにより、チーズ内部とのガス交換がより多く行われる。ミモレットの熟成においては、このことが重要だとされている。

### ■チーズコナダニはアレルギーの原因となりえるのか

2013年、米国食品医薬品局 (FDA) は、生きたダニがいると

してフランスのチーズ「ミモレット」を税関で差し止めたことがある。しかし、すぐに問題はないとして差し止めは解除された。

お好み焼きなど小麦粉製品におけるダニの大発生でアナフラキシーショックが起きる「パンケーキ症候群」と呼ばれる事例もあるが、その原因となった食品を調べると、チーズのダニとは桁違いに多量のダニが含まれていたことが知られている。

また、チーズコナダニはダニアレルギーの原因になるチリダニ類 (ヒョウヒダニ類) とは系統的に非常に離れた分類群であり、その原因にはなりにくい。強いアレルギー体質の場合は注意が必要だが、フランスでダニが熟成に用いられているチーズによってアナフラキシーショックを引き起こされた例はみつけられない。

なお、フランスではダニを使用したチーズ製造に法的規制はない (<https://www.legifrance.gouv.fr/loda/id/JORFTEXT000000644875/2022-04-29/>; Supplement 1, Article 10参照)。

以上の研究は、共同研究チームの島野智之博士（法政大学 教授）、蛭田眞平博士（昭和专业富士山麓自然・生物研究所 准教授）、清水伸泰博士（京都先端科学大学 教授）が主に進めた。

リリース時タイトル / 【昭和专业・法政大学・京都先端科学大学】ヨーロッパでチーズの熟成に用いるダニを解析した結果、互いに遠く離れた工房であっても同種のチーズコナダニであることが判明 -- ドイツとフランスの3つのチーズ産地で採集

発表雑誌 / Experimental and Applied Acarology (エクスペリメンタル・アンド・アプライド・アカロロジー) 誌 2022年7月11日(月)公開

論文タイトル / Do 'cheese factory - specific' mites (Acari: Astigmata) exist in the cheese - ripening cabinet? (英文)

著者 / Satoshi Shimano, Shimpei F. Hiruta, Nobuhiro Shimizu, Wataru Hagino, Jun-ichi Aoki, Barry M. O'Connor

DOI / <https://doi.org/10.1007/s10493-022-00725-8>

発表雑誌 / Experimental and Applied Acarology (エクスペリメンタル・アンド・アプライド・アカロロジー) 誌 2022年8月19日(金)公開

論文タイトル / Mite secretions from three traditional mite - ripened cheese types: are ripened French cheeses flavored by the mites (Acari: Astigmata)?

著者 / Nobuhiro Shimizu, Barry M. O'Connor, Shimpei F. Hiruta, Wataru Hagino, Satoshi Shimano

DOI / <https://doi.org/10.1007/s10493-022-00734-7>

## 肺がん原因物質の毒性発現を化学計算で予測 大気汚染物質の毒性評価に期待



昭和专业薬学部の福原潔教授（基礎薬学講座医薬化学部門）と国立医薬品食品衛生研究所の共同研究グループは、肺がんの原因となる大気汚染物質の毒性発現機構を化学計算によって明らかにした。これにより、化学計算による精度の高い化学物質の毒性予測が期待される。この研究成果は、科学雑誌『Toxicology and Applied Pharmacology』に掲載された。

肺がんの原因といえばタバコが第一にあげられるが、もう一つの原因と推定されるのが汚染大気だ。大気中に含まれるさまざま

な有害物質が肺の末端にある肺胞付近の細胞を傷つけ、その結果、がんが発生する。そこで、がんの発症に関係する化学物質の排出源を特定して大気中への排出を抑えることができれば、肺がんの発症率は低くなることが考えられる。ディーゼル排ガス等の規制により肺がんの発症率は大きく低下した。しかし、どのような化学物質ががんの発症に関係しているかは不明な点が多いため、新たな環境汚染物質の排出に対する予防的な取り組みが必要とされている。

福原教授と国立医薬品食品衛生研究所の共同研究グループ



は、これまで大気中に存在する肺がんの原因物質を明らかにしてきたが、今回、化学構造から毒性を予測する新しい知見を得ることに成功した。多くの発がん物質は体内で活性体へと代謝された後、DNAと複合体を形成し、さらにDNAと結合して毒性を発現する。そのため、化学物質の毒性の強さは活性代謝物の生成しやすさによって予測可能と考えられてきた。しかし、それだけでは毒性の十分な評価は難しい。研究グループは不安定な活性代謝物とDNAとの複合体について最安定化構造の最適化計算計を行なったところ、強力な発がん性や変異原性を有する大気汚染物質は活性代謝物とDNAのグアニンとの距離が近くなっていることを明らかにした。この結果は、動物実験を実施しなくても、活性代謝物の生成しやすさとDNAとの複合体でのグアニンとの距離について、それぞれを化学計算することでより精度の高い化学物質の毒性予測が可能であることを示している。

この研究成果は、科学雑誌『Toxicology and Applied Pharmacology』に掲載され、「Medicine Innovates」で紹介された。

リリース時タイトル／昭和大の共同研究グループが肺がん原因物質の毒性発現機構を解明 -- 化学物質の毒性評価に期待

雑誌名／Toxicology and Applied Pharmacology (impact factor: 4.46)

論文名／The position of the nitro group affects the mutagenicity of nitroarenes

著者名／Akiko Ohno, Yoshio Okiyama, Akihiko Hirose, Kiyoshi Fukuhara

DOI／https://doi.org/10.1016/j.taap.2022.115974

Medicine Innovates／https://medicineinnovates.com/different-positions-nitro-groups-nitro-polycyclic-aromatic-hydrocarbons-significantly-affect-mutagenicity/

## 迅速な鑑別診断の支援目指し、 疾病を予測する診療支援AI技術の開発に向けた 共同研究を富士通Japanと開始



学校法人昭和大学<sup>(注1)</sup>（以下、昭和大学）と富士通Japan株式会社<sup>(注2)</sup>（以下、富士通Japan）は、医師の診断支援による医療水準の均てん化<sup>(注3)</sup>や診療業務の効率化を目指し、昭和大学横浜市北部病院<sup>(注4)</sup>の臨床現場において、電子カルテシステムに入力された診療データから即時に疾病を予測し、治療方針の候補などを医師に提案する診療支援AI技術の開発に向けた共同研究を2022年9月より開始した。

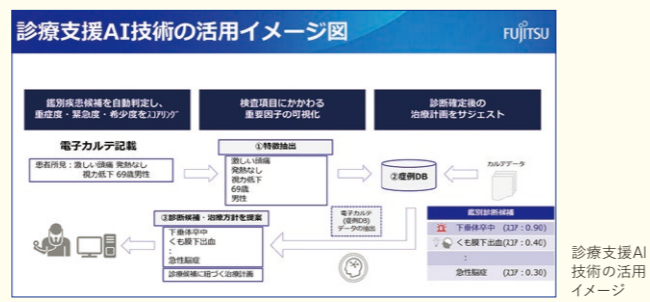
本共同研究では、医療分野のデジタルトランスフォーメーション(DX)を通じた患者サービスの質の向上を目指し、主訴や患者所見などの電子カルテシステムに記載されたテキストデータと病院に蓄積された過去の診療データから総合的にデータの関連性、類似性を数値化し、疾患分類を評価する新たな診療支援AI技術を開発する。これにより迅速な鑑別診断<sup>(注5)</sup>を可能とし、診療業務の効率化を実現する。さらに、昭和大学の倫理審査で承諾を得た昭和大学横浜市北部病院が保有する匿名化された診療データを用いて、開発したAI技術の有効性の検証と評価を行い、同病院での本運用に加え、他の昭和大学附属病院への導入や研修医向け教育コンテンツへの展開を目指す。

### ■背景

国内の一般病院における電子カルテシステムの普及率は60%<sup>(注6)</sup>に近づきつつあり、昨今、蓄積された診療データの活用など、診療や経営の改善に向けた統計データとしての活用など、ヘルスケア業界をはじめとする様々な業界で期待が高まっている。

### ■共同研究について

本共同研究で開発する診療支援AI技術により、診療業務の効率化や重要な疾患の見落とし防止など、医師を幅広く支援すると



ともに、医療水準の均てん化にも貢献できる。さらに、電子カルテシステムとの連携による診療業務の効率化や、医療従事者の働き方改革を支援する新たな仕組みの構築などの医療分野におけるDXを推進していくことで患者サービスの質の向上につなげていく。

### 1. 研究概要

#### (1) 診療支援AI技術の新規開発

昭和大学横浜市北部病院が保有する過去20年分の電子カルテシステムに蓄積された診療データと、同病院の専門医による医学的知見やアドバイスを基に、主訴や患者所見などの電子カルテシステムに記載のテキストデータを汎用的な自然言語処理技術で解析し、鑑別診断候補となる疾患分類をスコアリング評価した結果と過去の診療データを組み合わせ、総合的にデータの特徴量を算出し、類似症例検索アプローチによる疾患候補の提案を行う診療支援AI技術を開発する。

#### (2) 臨床現場での検証と評価

昭和大学横浜市北部病院の臨床現場における診療支援AI技術の有効性の検証・評価。

### 2. 期間

2022年9月から2023年3月まで

### 3. 場所

昭和大学横浜市北部病院

### ■今後の展望

昭和大学は、富士通Japanとともに、本共同研究で開発するAI技術を2022年度中に臨床現場に適用し、有効性の検証を進め、継続して患者本位の医療や高度な医療の推進、医療人の育成を目指す。

富士通Japanは、本共同研究を通じて2022年度中にAI技術を開発し、昭和大学における診療業務の効率化を支援するとともに、今後もさらなる精度向上を図り、全国の医療現場での適用を推進していく予定。

### ■学校法人昭和大学

#### 総合情報管理センター長 中村 明央 教授のコメント

昭和大学横浜市北部病院に蓄積された過去の電子カルテデータと、日々のカルテ記載データを分析することにより、即時に疾病を予測し、治療方針の候補などを医師に提示する診療支援AI技術の開発が始まります。診療の基本であるカルテ記載から様々な提案をしてくれる理想的なパートナーです。まさにAI技術の極みです。今回開発するAI技術により、医療現場の負担が減り、患者に対しより良質な医療を提供できるようになることが期待できます。

### ■富士通Japan株式会社

#### 森田 嘉昭 ヘルスケアソリューション開発本部長のコメント

少子高齢化社会の中で、医療従事者の過労働や人材不足は喫緊の課題であり、この解決に向けて医療分野におけるAI開発の重

## 保健医療学部リハビリテーション学科新設が認可 2023年4月、横浜キャンパスに



昭和大学（東京都品川区、学長：久光正）は2023年4月、横浜キャンパス（神奈川県横浜市緑区）に保健医療学部リハビリテーション学科を新設する。文部科学省によって9月20日付で設置届出が受理され、これによって本学は来年度から4学部5学科体制となる。

医療の複雑化や価値観の多様化により社会構造が変化する中、昭和大学保健医療学部では、医系総合大学としての本学の特色を活かすとともに、その価値を高め、専門領域の深化を図るための新たな創造を目指す。

そのゴールのひとつとして、リハビリテーション領域の様々なスペシャリストの養成を行い、多様化した個人や社会のニーズに対応できる優れた医療人を育成するため、既存の理学療法学科と作業療法学科を改組し、令和5年4月にリハビリテーション学科（理学療法学専攻、作業療法学専攻）として統合する。

### ■保健医療学部リハビリテーション学科 概要

設置年月／2023年4月

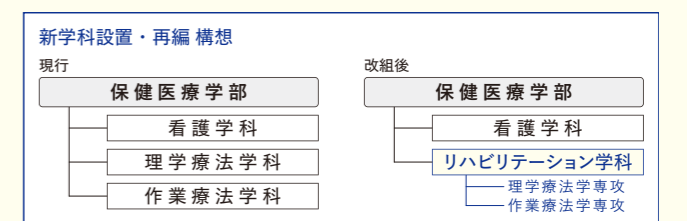
要性が高まっています。今回、当社は、富士通株式会社<sup>(注7)</sup>のAI技術を活用した診療支援AI技術と昭和大学の医学的知見を融合したコンバージングテクノロジー<sup>(注8)</sup>の研究を進め、医師の診断における意思決定を支援するシステム開発に着手します。また、今後、本研究成果は、医療現場のみならず健康増進サービスなどに広く応用し、健康な社会づくりに貢献していきます。

リリース時タイトル／昭和大学と富士通Japan、電子カルテシステムの診療データから疾病を予測する診療支援AI技術の開発に向けた共同研究を開始 -- 医療現場における迅速な鑑別診断支援により診療業務の効率化を実現 --

商標について／記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標である。

### 注釈／

- (注1) 学校法人昭和大学：所在地 東京都品川区、理事長 小口 勝司。
- (注2) 富士通Japan株式会社：本社 東京都港区、代表取締役社長 砂田 敬之。
- (注3) 均てん化：主に医療政策の分野で用いられる言葉で、全国どこでも誰でもが等しく利益を享受できるように、医療技術などの格差の是正を図ること。
- (注4) 昭和大学横浜市北部病院：所在地 神奈川県横浜市、病院長 門倉 光隆。
- (注5) 鑑別診断：医師の診療業務で用いられる言葉で、患者の訴えや検査結果などから可能性がある病気を比較しながら見極めること。
- (注6) 電子カルテシステムの普及率は60%：[出典] 医療施設調査（厚生労働省）「電子カルテシステム等の普及状況の推移（令和2年版）」令和2年時点：57.2%。https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/20/
- (注7) 富士通株式会社：本社 東京都港区、代表取締役社長 時田 隆仁。
- (注8) コンバージングテクノロジー：特定の目的を達成するために2つ以上の異なる分野の科学や技術を融合した富士通株式会社が研究開発に注力する技術。



設置学科／保健医療学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）

入学定員／理学療法学専攻35名、作業療法学専攻25名

設置場所／昭和大学横浜キャンパス（神奈川県横浜市緑区十日市場町1865）

授与する学位／学士（理学療法学・作業療法学）

リリース時タイトル／昭和大学「保健医療学部リハビリテーション学科」の設置届出が受理 -- 2023年4月に横浜キャンパスに新設

参考／文部科学省HP「令和5年度開設予定の大学の学部等の設置届出について」（令和4年7月分）https://www.mext.go.jp/content/20220725-mxt\_koutou02-1418456\_09.pdf

# 学内会議報告



## 就任のお知らせ(9月13日理事会承認)

医学部内科学講座(血液内科学部門)担当 教授  
勤務地: 昭和大学藤が丘病院内科系診療センター(内科)



福田 哲也

現: 鳥取大学医学部附属病院血液内科 特命教授  
任命日: 令和5年4月1日

## 理事会関係

### ◆保健医療学部リハビリテーション学科設置

以下の内容で文部科学省に設置届出申請書を提出し、9月20日付で受理された。

【改組内容】2学科を1学科2専攻へ改組

現行		改組後	
		リハビリテーション学科	
理学療法学科	作業療法学科	理学療法学専攻	作業療法学専攻
入学定員 30名 収容定員 120名	入学定員 30名 収容定員 120名	入学定員 35名 収容定員 140名	入学定員 25名 収容定員 100名

【改組予定日】令和5年4月1日

### ◆研究所の設置

以下のとおり研究所を設置することが承認された。

【研究所の名称】昭和大学脳機能解析・デジタル医学研究所

【設置目的】脳機能解析・デジタル医学に関わる研究を通して、脳機能および脳機能障害等における診断、病状評価、メカニズム解析の発展ならびに国民の健康増進に寄与するため。

【設置日】令和5年4月1日

【設置場所】旗の台校舎(1号館内)

### ◆令和4年度学校法人昭和大学奨学生追加採用

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により家計状況が悪化し、奨学金を必要としている学生が多く、令和4年度学校法人昭和大学奨学金の奨学生に89名の応募があった。例年に比べて20名ほど多かったことから、例年であれば採用されていた家計状況の学生を採用できなかった状況を踏まえ、当該奨学生を追加採用した。

【追加採用者数】8名

【追加貸与額】4,000,000円 内訳: 500,000円×8名

参考/令和4年6月14日(火)理事会承認事項
【採用者数】60名
【貸与額】30,000,000円 内訳: 500,000円×60名

【貸与総額】34,000,000円 内訳: 500,000円×68名

### ◆ビデオジャーナル「JoVE」の導入

本学図書館にビデオジャーナル「JoVE(ジョーヴ)」が導入され、学生・職員は教材や授業の参考資料、自主学习等の目的で利用が可能。

「JoVE」とは世界で初めてのビデオ学術誌で、最先端の実験の詳細をテキストで読むだけでなく動画で視聴することができる。Research(研究用コンテンツ)とEducation(教育用コンテンツ)がある。詳細は昭和大学図書館ホームページへ。

### ◆公益社団法人昭和大学医学・医療振興財団への寄附

同財団は、医学・医療に関連する領域の教育・研究・医療の実践者に対する支援事業を行うことによって、国民の健康増進に貢献することを目的に、平成25年4月に設立された。

令和4年度は、以下の金額を寄附することが承認された。

【寄付金額】6,000,000円

### ◆「育児休業規程」改正

令和4年10月の育児休業等に関する法改正に伴い、育児休業の分割取得が認められ、出生時育児休業が新たに創設されるなど、本学でも育児休業等の取得に関して運用が変更になった。

【改正のポイント】1. 育児休業が2回に分けて分割取得が可能に(1歳の誕生日前日まで2回に分けて取得ができる制度) / 2. 出生時育児休業(産後パパ育休)が新たに創設(出産後、8週間以内に2回に分けて最大4週間、育児休業が取得できる「パパ」の新たな制度)

【施行日】令和4年10月1日

### ◆令和3年度私立大学等経常費補助金の確定

私立大学等経常費補助金は、①私立大学等(私立の大学・短期大学・高等専門学校)の教育研究条件の維持向上、②学生の修学上の経済的負担の軽減、③私立大学等の経営の健全性向上

に資するため、日本私立学校振興・共済事業団が国から補助金の交付を受け、これを財源として全額、学校法人に対して設置学校の経常的経費について補助するもの。この補助金には、各学校における教職員数や学生数等に所定の単価を乗じて得た基準額を教育研究条件の状況に応じ傾斜配分する「一般補助」と、教育研究に関する特色ある取組に応じ配分する「特別補助」がある。

令和3年度の本学への補助金額は以下のとおり。

【確定額】5,533,712千円  
内訳 一般補助 5,289,250千円  
特別補助 244,462千円

参考/令和2年度私立大学等経常費補助金
【確定額】5,877,636千円 内訳 一般補助 5,595,152千円 特別補助 282,484千円

## 病院関係

### ◆遠隔集中治療支援システム「eICU」導入

遠隔集中治療支援システム「eICU」は、複数のICUをネットワークで接続し、その情報を現場から離れた支援センターにいる集中治療専門医が閲覧し、現場ICUのスタッフや患者との双方向通信で支援するもの。昭和大学ではeICUをアジアで初めて導入し、平成30年4月から運用を開始した。

現在は昭和大学病院と15km離れた江東豊洲病院のICUが支援センターと接続されており、全53のICUベッドの治療をサポートしている。

藤が丘病院と横浜市北部病院においても、令和5年1月からの運用開始に向けて準備を進めている。

### ◆医師の働き方改革に向けた取り組み

令和6年度より医師の時間外労働時間数が規制され、医師の働き方改革が開始する。これまで本学は変形労働時間制によるソフト勤務を導入し、労務の合理化・自己研鑽の時間創出を進めてきたが、今後は、外勤先を含めた労務管理の徹底や多職種間のタスクシフト・シェアの推進、宿日直許可の取得などが必要となる。医師の健康確保および勤務環境改善のため、長時間労働を是正し、よりよい職場を実現することが目的であり、昭和大学全体として今後も取組を進めていく。

## 学務関係

### ◆薬学教育分野別評価の受審

平成18年4月より薬学教育6年制が開始されたことに伴い、各大学の薬学教育プログラムの適正な評価、教育研究活動の充実・向上を図ることを通して国民の保健医療、保健衛生ならびに福祉に貢献することを目的に、一般社団法人薬学教育評価機構による薬学教育分野別評価が平成25年4月より開始された。

本学では、第1期サイクルとして平成27年に受審し、薬学教育評価機構が定める「薬学教育評価基準」に適合していると認定された(【認定期間】令和5年3月31日まで)。

この度、第2期サイクルとして令和4年10月5日(水)・6日(木)の2日間で一般社団法人薬学教育評価機構による薬学教育分野別評価を受審した(コロナの影響によりオンライン対応)。

第2期サイクルでは、三つの方針(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)を踏まえた内部質保証の体制を中心にした評価となっており、受審当日は、本学の教育プログラム等、様々な事項について意見交換が行われた。また、教育職員だけでなく学生との面談も行われた。

今回の受審結果については、令和5年3月に通知と公表の予定。

### ◆高等教育の修学支援新制度に関する令和3年度実績

本学は令和元年9月20日付で、国が実施する「高等教育の修学支援新制度」の対象機関として認定された。

この制度は、学ぶ意欲がある学生が大学等に進学できる機会を確保するために、国が「授業料・入学金の減免」と「給付型奨学金」により、真に経済的支援が必要な世帯の学生の修学に係る経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

本学における令和3年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生は61名。



# 令和4年度 科学研究費助成事業採択課題一覧

令和4年度の科学研究費助成事業交付内定額(5/1現在) ※延長課題は除く ※所属・役職は令和4年5月交付時点

令和4年度の科学研究費助成事業の交付は全体で312件が採択され、総計で3億880万円が交付される。

各所属の採択件数・交付額は以下の通り。

- 医学部：138件 1億3,293万円
- 歯学部：94件 1億280万円
- 薬学部：35件 3,390万円
- 保健医療学部：25件 1,570万円
- 富士吉田教育部：4件 330万円
- 研究所等：16件 2,020万円

今号では、医学部の一覧を掲載する。

## 医学部

研究種目	講座	所属	研究者名	内定額(円)	研究課題名
新学術領域研究 (研究領域提案型)	生化学講座	講師	森戸 大介	2,000,000	ユピキチン化異常を起点とする血管障害の統合的理解と創薬
		講師	森戸 大介	1,800,000	オルガネロファジーと血管障害
基盤研究 (B)	生化学講座	准教授	宮崎 拓郎	2,400,000	代謝臓器の質を司るmRNA成熟因子の作動原理解明と臨床的基盤の構築
		講師	森戸 大介	2,900,000	脂質ユピキチン化の生物学
	内科学講座／消化器内科学部門	兼任講師	森 悠一	3,700,000	がん検診へのAI介入により、大腸癌は予防できるか - 大規模ランダム化試験
	救急・災害医学講座	教授	土肥 謙二	5,100,000	神経ペプチドPACAPの熱中症による全身および神経炎症抑制機構の解明
准教授		宮本 和幸	700,000	熱中症・敗血症(全身性炎症)における急性期～中長期の神経・液性シグナル連関の解明	
解剖学講座／肉眼解剖学部門	講師	井上 由理子	1,000,000	ランゲルハンス細胞と知覚神経C線維の関係-褥瘡モデルマウスによる神経解剖学的解析	
	教授	砂川 正隆	700,000	漢方薬によるオキシトシンの分泌促進作用	
生理学講座／生体制御学部門	講師	安達 直樹	1,100,000	周産期ストレスによる胎児神経幹細胞分化過程の攪乱と大脳白質形成への影響	
	講師	高山 靖規	1,100,000	植物由来天然化合物によるPiezo 1 阻害を介した大腸ガン抑制と正常細胞の保護	
生理学講座／生体調整機能学部門	教授	泉崎 雅彦	400,000	呼吸性視覚フィードバックによる呼吸リハビリテーションの開発に向けた生理学的検討	
	客員教授	鬼丸 洋	400,000	延髄呼吸循環中枢ニューロンの低酸素受容の細胞・分子機構の解明	
	准教授	政岡 ゆり	800,000	嗅覚からアプローチする認知症予防法の創出 - 嗅覚刺激は神経を再生させるのか? -	
	准教授	飯塚 真喜人	700,000	吸啜リズムを形成する神経回路網の解明	
基盤研究 (C)	生化学講座	助教	内田 有希	800,000	新規冷受容分子TREKと女性ホルモンに着目した女性の冷えのメカニズムの解明
		教授	宮崎 章	1,400,000	NAFLDおよび耐糖能異常における肝血管内皮細胞由来分枝アミノ酸の意義
	ポストドクター	折井 みなみ	1,200,000	もやもや病における細胞・組織障害のメカニズム解明	
	臨床病理診断学講座	准教授	塩沢 英輔	300,000	甲状腺原発悪性リンパ腫におけるFOXP1/IGH 融合遺伝子発現の検討
薬理学講座／医科薬理学部門	名誉教授	小口 勝司	600,000	悪性高熱症の遺伝子診断を目指した1型リアノジン受容体遺伝子変異体の作製と発現	
	講師	西村 有希	1,100,000	がん患者における健康食品と医薬品併用の安全性に関する研究	
薬理学講座／臨床薬理学部門	講師	佐々木 晶子	1,500,000	乳がん患者の化学療法によるしびれ改善の冷却法とハンドセラピー併用技術の確立	
	教授	内田 直樹	100,000	脳低温療法の復温期における鎮静薬投与管理アルゴリズムの策定	
衛生学公衆衛生学講座	教授	小風 暁	400,000	テレワーカーのプレゼンティーズムへのコーヒー飲用の影響に関する職域コホート研究	
	准教授	吉本 隆彦	400,000	オフィスワーカーにおける座位行動と運動器疼痛に関する縦断研究及び介入可能性の探索	
法医学講座	教授	松山 高明	1,200,000	ヒト心臓房室弁輪に潜在する未知の不整脈発生基質の組織学的探索	
	教授(員外)	城 祐一郎	1,200,000	終末期医療における安楽死・尊厳死の法制化を目指すための国内的・国際的実態調査	
	講師	草野 麻衣子	700,000	MSイメージングによるカンナビノイド類の標的神経細胞同定と単一細胞薬物動態解析	
微生物学免疫学講座	教授	伊與田 雅之	1,300,000	腎疾患における2型自然リンパ球の関与	

研究種目	講座	所属	研究者名	内定額(円)	研究課題名
微生物学免疫学講座	准教授		幸田 力	800,000	妊娠時におけるサイトメガロウイルス再活性化に関する腸内細菌叢の機序解明
	准教授		石川 裕樹	1,000,000	インフルエンザウイルス感染に伴う細菌二次感染易感染性の分子基盤解析と予防法確立
	講師		久野 芳裕	900,000	腸内細菌のANCA関連腎炎への免疫学的関与の解明と病態制御への応用
	助教		長島 隆一	1,200,000	2型自然リンパ球に着目した慢性腎臓病の分子病態解明と治療応用
医学教育学講座	教授		緒方 浩顕	1,000,000	尿毒症環境下の心血管組織におけるVD-VDR活性化調節機構の解明
	准教授		土屋 静馬	500,000	日本における医学生のレジリエンス育成教育プログラムの実践と継続的評価
内科学講座／呼吸器アレルギー内科学部門	講師		鈴木 慎太郎	500,000	シミュレーションシステムによる反復学修はアナフィラキシーへの対応能力を向上させる
	准教授		井上 嘉彦	600,000	高齢者慢性腎臓病に対するサルコペニア・フレイル予防を考慮した食事療法の開発
内科学講座／リウマチ・膠原病内科学部門	准教授		矢嶋 宣幸	100,000	全身性エリテマトーデス患者の行動変容を促すモバイルヘルスシステム開発と効果検証
	講師		若林 邦伸	900,000	関節液由来線維芽細胞の免疫表現型解析による関節リウマチの病態解明への挑戦
	助教		磯島 咲子	1,400,000	膠原病患者の疾患活動性と育児ストレス
	助教		羽多野 美香	1,100,000	SLE患者の妊娠出産に関する診療の質指標開発と学会主導レジストリを用いた検証
内科学講座／糖尿病・代謝・内分泌内科学部門	普通研究生		辻本 康	800,000	文献レジストリ構築とリアルワールドデータによる膠原病予後因子の網羅的負荷推計
	教授		山岸 昌一	1,400,000	終末糖化産物阻害アプタマーによる老年病の包括的な制御
	准教授		福井 智康	800,000	糖尿病心筋症の新たな治療法の開発-終末糖化産物阻害アプタマーを用いた解析
	准教授		森 雄作	900,000	終末糖化産物を標的とした新しい男性不妊療法の開発
基盤研究 (C)	講師		寺崎 道重	1,500,000	動脈硬化症モデル動物への終末糖化産物アプタマーの治療応用
	教授		鈴木 洋	600,000	病院前12誘導心電図の有用性の検証とその普及-神奈川循環器救急レジストリー研究-
	教授		新家 俊郎	700,000	AIブランク診断を用いた高齢者急性冠症候群治療における出血性イベント最少化戦略
	内科学講座／循環器内科学部門	准教授	磯 良崇	1,000,000	高齢心不全の心臓リハビリテーションにおけるマイクロRNAを用いた効果予測法の開発
内科学講座／腎臓内科学部門	准教授		若林 公平	200,000	超高解像能イメージングで挑む運動療法による冠動脈プラーク治癒効果の新解明
	講師		横田 裕哉	400,000	心臓リハビリテーションによるHDL亜分画の変化及び冠動脈イベント回避への影響
内科学講座／脳神経内科学部門	教授		本田 浩一	200,000	慢性腎臓病の栄養障害・サルコペニアの発症・進展とエビゲノム異常の関係
	講師		西脇 宏樹	130,000	ネフローゼ症候群における運動制限と腎予後の関連
内科学講座／腫瘍内科学部門	教授		村上 秀友	500,000	内因性ドパミンの賦活によるパーキンソン病の治療効果を予測する神経心理学的背景
	講師		有泉 裕嗣	900,000	化学療法誘発性末梢神経障害の腫瘍神経免疫学的病態解析による定量評価法の開発
外科学講座／小児心臓血管外科学部門	講師		濱田 和幸	1,000,000	MTAP遺伝子欠失をもつ大腸癌の癌微小環境における免疫細胞の活性化機序の解明
	助教		堀尾 直裕	1,300,000	アミノ基付加DLCコーティング人工血管開発と、官能基がDLCに及ぼす効果の検討
外科学講座／消化器一般外科学部門	教授		青木 武士	100,000	消化器癌における術中リアルタイムがん診断自動解析システムの新規開発
	教授(員外)		大塚 耕司	400,000	より安全な低侵襲下手術を目的としたエネルギーデバイスによる熱損傷の検証
	准教授		伊藤 寛晃	400,000	分光法を応用した血液・尿の網羅的解析による超早期がん診断と無標識循環がん細胞検出
	講師		松田 和広	600,000	肝腫瘍に対する肝表層血管構造のAI診断に基づくリアルタイム解析システムの開発
脳神経外科学講座	講師		田代 良彦	200,000	血液線維素溶解系因子による虚血再灌流障害の制御機構の解明と臨床応用に向けて
	講師		加藤 容二郎	900,000	少子化対策としての心停止下提供子宮移植普及へ向けた基礎研究(動物実験モデル)
	講師		佐藤 洋輔	※ -	ガンマ波規則性定量化・動的解析によるてんかん病変部・ネットワーク描出法の開発

※継続課題につき、今年度の配分金なし



研究種目	講座	所属	研究者名	内定額(円)	研究課題名
整形外科学講座	客員教授		平泉 裕	500,000	損傷脊髄に生着しやすい骨髄間葉系幹細胞の特性化と予見的選択法の開発
	准教授		工藤 理史	1,100,000	首下がり症の病態解明と治療戦略の確立
	講師		豊島 洋一	100,000	関節リウマチ患者の身体活動量と寛解
	講師		石川 紘司	900,000	高齢者の手術リスクを可視化する：合併症予測モデルを基軸とした最適な術式選択
	兼任講師		李 相亮	1,100,000	整形外科手術後における炭酸ガス経皮吸収療法：上肢術後機能回復効果の検証
リハビリテーション医学講座	教授(員外)		依田 光正	100,000	早期離床リハビリテーションプロトコールに嚥下訓練を加える有用性の検討
	准教授		永井 隆士	1,200,000	腹筋仙骨間距離が嚥下機能におよぼす病態の解明
	兼任講師		和田 真一	800,000	「主体性」が中途障害者の生活を改善させる－主体性評価に基づく関わり方の効果－
産婦人科学講座	教授		関沢 明彦	1,100,000	常位胎盤早期剥離の発症機序に関する研究：子宮内細菌叢の観点から
	教授(員外)		松本 光司	900,000	HPVワクチン接種後の血清抗体：発症予防抗体価と持続期間の検討
	講師		小出 馨子	1,100,000	母体血漿中DNA/RNAを用いた妊娠高血圧症候群の予知法の開発
	講師		川嶋 章弘	1,300,000	妊娠高血圧腎症発症のメカニズムの解析：妊娠初期の胎盤のエピゲノム異常の解明
	講師		小貫 麻美子	1,100,000	HPVワクチンの有効性：ブレイクスルー症例の解析
皮膚科学講座	助教		小松 玲奈	1,000,000	深層学習を用いた総肺静脈還流異常症の超音波画像診断支援技術の開発
	教授		猪又 直子	1,000,000	アニサキスアレルゲンの低アレルゲン化による再発予防法の確立
	教授(員外)		渡辺 秀晃	1,300,000	三次元立体構造解析・モデルマウスを用いたSJS/TEN治療薬の開発
	助教(医科)		雷 小峰	1,500,000	TGF-β誘導性分子を標的とした新規肺線維症治療戦略の構築
	助教(医科)		村山 正和	1,000,000	微小環境におけるイン酪酸の癌免疫応答作用機序の解明
小児科学講座／小児科学部門	教授		水野 克己	300,000	極低出生体重児に対する経母乳ヒトサイトメガロウイルス感染症対策
	教授(員外)		今井 孝成	1,000,000	鶏卵アレルギー経口免疫療法の舌下免疫療法併用効果に関するランダム化対照比較試験
	教授(員外)		加藤 光広	1,000,000	人工知能(AI)とRNA-Seqの融合による遺伝性小児神経疾患の新たな病因解明
	准教授		中野 有也	700,000	極低出生体重児の体組成正常化および神経学的予後改善をめざした栄養管理の検討
	講師		宮沢 篤生	900,000	早産児に対する亜鉛早期補充の臨床的検討
小児科学講座／小児循環器内科学部門	准教授		喜瀬 広亮	600,000	先天性心疾患における術後リンパ管合併症の発症予測と早期診断法の確立に関する研究
	教授		岩波 明	1,200,000	アイトラッカーを用いた成人期発達障害の共同注意に関する研究
	教授		稲本 淳子	1,000,000	認知機能を軸とした急性期の気分障害における評価と包括的支援の開発及び効果の検証
	准教授		真田 建史	600,000	脳機能イメージングによるうつ病の腸脳連関の解明
	准教授		戸田 重誠	1,000,000	事象関連電位と瞳孔径変化から解明する発達障害におけるパニックの神経基盤
放射線医学講座／放射線治療学部門	講師		加藤 正子	2,700,000	AIを活用した食道がん術後再発に対する放射線治療の効果予測
	助教(医科)		豊福 康介	1,100,000	新MRI解析方法NODDIを活用した全脳照射後における認知機能低下の原因探索
救急・災害医学講座	准教授		宮本 和幸	900,000	マウス熱中症モデルにおける凝固線溶異常・血管内皮傷害の検討 敗血症と何が違うのか
	講師		塚田 愛	700,000	ワイン加工残渣摂取による腸内細菌叢改善を介した抗ストレス・抗炎症効果の解明
生理学講座／生体制御学部門	講師		奥茂 敬恭	1,200,000	変形性膝関節症に対する防己黄耆湯の治療効果に関する基礎的解析
	助教		池本 英志	1,300,000	NAMPTをターゲットとした変形性膝関節症に対する電気鍼治療効果の基礎的解析
生化学講座	助教		宮内 彩	1,100,000	メカニカルストレス応答性分子を標的とした新規心不全治療への展開
	薬理学講座／医科薬理学部門	ポストドクター	海野 真一	800,000	D-セリン-AMPA受容体相互作用の分子機構解明と統合失調症治療法開発への応用
薬理学講座／臨床薬理学部門	講師		水上 拓也	1,500,000	冠動脈びまん性病変の病理病態の解明－包括的治療戦略の構築を目指した疾患群の確立－
	兼任講師		佐藤 仁	800,000	ミエリンの可視化と再生に着目した下歯槽神経損傷の新規治療戦略
内科学講座／呼吸器アレルギー内科学部門	講師		井上 英樹	1,300,000	気道上皮角層蛋白発現と気道上皮バリアー機能を改善する新規喘息治療法の開発
	助教		平井 邦朗	400,000	COPD患者におけるフレイル発症・進行因子の特定

研究種目	講座	所属	研究者名	内定額(円)	研究課題名
若手研究	内科学講座／呼吸器アレルギー内科学部門	助教	宮田 祐人	1,500,000	喘息患者における広域周波オシレーション法での呼吸抵抗に基づいた新規治療法の探求
	内科学講座／リウマチ・膠原病内科学部門	講師	石井 翔	1,600,000	関節リウマチ骨破壊に関わる細胞間ネットワークを制御するADAM10の機能解明
	内科学講座／糖尿病・代謝・内分泌内科学部門	兼任講師	九島 秀樹	1,400,000	終末糖化産物受容体阻害アプタマーによる血管再狭窄に対する新しい治療手段の開発
		助教	大坂 直也	2,100,000	終末糖化産物を標的としたフレイルに対する包括的な治療手段の開発
	内科学講座／消化器内科学部門	講師	林 武雅	400,000	大腸粘膜下層剥離術における穿孔予防のため人工知能による危険認識システムの構築
		講師	東條 正幸	900,000	PTPRK遺伝子変異を介した大腸発癌機構の解明
		講師	工藤 豊樹	500,000	大腸腫瘍に対するEndocyto(超拡大内視鏡)診断体系の基盤確立
		講師	一政 克朗	1,100,000	StageII大腸癌の術後化学療法の必要性を判断する、人工知能システムの開発
	内科学講座／循環器内科学部門	助教	神山 勇太	1,600,000	大腸癌の遺伝子サブタイプを予測するAI内視鏡診断システムの確立
		助教	辻内 美希	700,000	肥大型心筋症における心臓リハビリテーションの有効性の検証と評価法の確立
		講師	佐藤 芳憲	1,500,000	孤発例、家族内発症例の比較によるIgA腎症の原因遺伝子の探査
		講師	鈴木 泰平	2,400,000	腎炎・ネフローゼ症候群に対する新規治療戦略の探求：脂質異常症からのアプローチ
	内科学講座／腎臓内科学部門	講師	加藤 憲	1,400,000	iPS細胞から誘導した腹膜中皮細胞移植治療の有用性の検討
		講師	杉本 あずさ	400,000	アルツハイマー病における時間認知障害－関係発達論による神経心理学の展開－
	内科学講座／脳神経内科学部門	講師	二村 明德	300,000	忘れた時をつなぐ“ことば”の探求
		助教	木村 篤史	900,000	ビタミンB12のアルツハイマー病の予防・進行抑制機序の解明 基礎から臨床まで
	内科学講座／腫瘍内科学部門	講師	大熊 遼太郎	800,000	膵臓がんに対する次世代型免疫療法開発にむけた腫瘍細胞に特異的な糖鎖構造の解析
		講師	植松 秀護	200,000	胸郭周囲径計測器を用いた肺切除後呼吸器合併症軽減の試み
	外科学講座／呼吸器外科学部門	助教(医科)	高宮 新之介	100,000	術前のMRIで測定した扁桃体の容積によって肺癌術後疼痛を予測し改善させる研究
		講師	増田 敏子	300,000	Insight TNBCtypeによるsubtype/分子標的薬治療の確立
外科学講座／乳腺外科学部門	講師	垂野 香苗	1,000,000	乳癌術前化学療法後の腫瘍修復を標的とした新規手術・診断システムの開発	
	特別研究生	犬塚 真由子	400,000	対側リスク低減乳房切除術を受けた遺伝性乳癌卵巣癌症候群女性のQOL調査	
整形外科学講座	助教(医科)	関水 壮哉	900,000	骨化性線維粘性性腫瘍における新規融合遺伝子の臨床的意義と作用機構の解明	
リハビリテーション医学講座	講師	正岡 智和	100,000	回復期リハビリ棟が主体となった脳卒中患者の骨粗鬆症診断・治療システム構築	
産婦人科学講座	講師	徳中 真由美	500,000	妊娠高血圧腎症の発症予知方法確立および低用量アスピリン内服による発症予防効果検証	
	講師	瀬尾 晃平	1,800,000	CDHに対するFETO後のバルーン除去－HIFUによる新規胎児治療法の開発－	
耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	講師	洲崎 勲夫	100,000	慢性副鼻腔炎におけるバイオマーカーとしてのペリオスチンの有用性の検討	
小児科学講座／小児科学部門	講師	岡田 祐樹	700,000	異なる生活環境における腸内細菌叢の違いに着目したアレルギー疾患発症因子の解明	
	普通研究生	田中 未央里	1,200,000	食品因子の新たな骨破壊予防戦略：肥満に伴う破骨細胞分化とアポトーシス制御	
放射線医学講座／放射線治療学部門	講師	原田 堅	1,200,000	局所進行食道がん根治治療術に併用可能な抗生物質溶性カバードシステムの開発	
	講師	細川 幸希	200,000	妊娠高血圧症候群における脳脊髄液の比重変化と脊髄くも膜下麻酔範囲への影響	
麻酔科学講座	講師	幸塚 裕也	2,000,000	コーンビームCTは閉塞性睡眠時無呼吸に対する口腔内装置治療の効果予測に有用か	
	講師	山村 彩	800,000	全身麻酔下で開口を障害する顎顔面リスク因子の検討と開口障害予防口腔内装置の開発	
救急・災害医学講座	助教	鈴木 恵輔	800,000	熱中症における熱産生調節機構の解明と予防戦略の確立	

次号(Jan. 2023)では、歯学部と薬学部の一覧を掲載する。



学生研修報告 この夏こそ、英語の苦手意識を克服!

# STEP<sup>※</sup>で学生9名が実践的に学びを体験

※ STEP (=Showa University Three Steps English Program)

国際交流センターでは、2022年7月29日～8月28日の期間、在学生を対象に英語でのコミュニケーション力を3つのstepsで向上させる新しいプログラムを企画・開催した。

- ① Hop! : オンライン英会話個人レッスン
  - ② Step! : オンライン英会話グループディスカッション
  - ③ Jump! : 東京都英語村 Tokyo Global Gateway (TGG) で英語の世界を体験
- 参加前は英語に苦手意識のあった学生も、事前オリエンテーションで打ち解け、Hop! Step! Jump! の3つのステップを通して楽しく学ぶことができた。英語でのコミュニケーションに自信がついた、今後の英語学習のモチベーションの向上に繋がった、学習効果を実感できた、との声が聞かれた。参加学生の感想を掲載する。

## 次回STEPプログラムに参加する皆さんへ 右近 初奈 (医学部3年)

私が今回STEPに応募したのは、様々なシチュエーションで楽しみながら英語を勉強しつつSDGsに対しても理解を深められるプログラムに魅力を感じたからです。

私はもともとあまり英語が得意ではないため、社会問題のディスカッションはできないのではないかと不安がありました。TGGでは事前にオンラインでグループと個人でのレッスンがあり、自分にあったレベルでレッスンを展開していただけたため、英語のレベルをあげてTGGの日を迎えられました。TGGではア

トラクションエリアとSDGsについて考えるコーナーがありました。アトラクションエリアでは飛行機の中などがリアルに再現されており、そこで課題をクリアすることで楽しく実践的に英語を学ぶことができました。これをウォーミングアップとして次のSDGsコーナーに移動し、ロールプレイに取り組むことで貧困をより身近な問題として捉え、メンバー全員でディスカッションすることができました。

このプログラムで自分の英語の弱点も知れたため、今後の自己学習にも役立てたいと思います。

## STEPで成長したこと

滑澤 理乃 (医学部3年)

私は以前からずっと英語に苦手意識がありましたが、将来医師として働くのに英語の能力が必要だということを先生方から聞く機会が多かったので、少しでも英語の苦手意識を克服したいと思いSTEPへ参加しました。

STEPでは、個人レッスン、グループレッスン、TGGでのアクティビティで英会話を行いました。個人レッスンでは、先生と会話をすることで英会話に慣れるとともに、ディスカッションで使える表現を学び、グループレッスンでは、メンバーと一緒に話すことで楽しんで英会話を

行うことができました。TGGでは、飛行機、お店、レストランでの英会話を実際に体験できたり、SDGsの視点から世界の貧困問題について英語でディスカッションをしたりと、とても充実した時間を過ごせました。

このようにSTEPで楽しみながら英語を話す経験をしたことで、英語に対する苦手意識を少し克服できました。英語を話す機会を作ること大切だと感じたので、今後も英語のプログラムに参加するなどして話す機会を作りたいと思います。

## STEPで学んだこと

私は、英語力を少しでも高めたいと思い、今回のSTEPのプログラムに申し込みました。

初回の個人レッスンでは、英語を話すこと自体が久しぶりだったため、緊張し英語で言いたいことが言えず、沈黙が続いたことが悔しかったです。しかし、その後グループレッスンを挟んで、STEP参加者の英語と触れ合うことがいい刺激となりました。各セッションでは、分からないところがあったらお互いに説明したり、意見を言い合いました。グループレッスンが終わると「意外に私も英語で会話ができるんだ」と思うことがで

アクティブエマージョンエリアでは、英語でのディスカッションを通じてSDGsに関する問題解決のプロセスを体験 (TGG)



稲留 真那 (薬学部3年)

き、個人レッスンやグループレッスンを数回することで、自信につながりました。

TGGでは、実際に海外で使いそうなやりとりを実際に英語で話しながら学べたことがよかったです。また、留学や海外旅行に行きたいという気持ちを久しぶりに感じる事ができました。

今回、STEPに挑戦してみて、英語への抵抗がなくなり、話すことに対してのハードルが下がったことが良かったです。このまま英語の学習を続けるモチベーションに繋がる経験ができ、参加してよかったと思いました。

飛行機内を模したアトラクションエリア (エアポートゾーン) では、海外旅行しながらの英会話に挑戦 (TGG)



## STEPプログラムを終えて

千葉 志緒理 (保健医療学部看護学科2年)

私は、昔から留学したいという気持ちがありましたが留学費用や新型コロナウイルスの影響からなかなか留学に踏み出せない状況が続いていました。日本でも英語に触れ、英語力を向上させたいと考えていた時に今回のSTEPプログラムの存在を知ることができ、参加しました。

このようなプログラムに参加するのは初めてだったため不安も大きかったのですが、個人レッスンでは日時や担当する先生を自分で決めることができ、また自分のレベルにあったレッス

## STEPプログラムに参加して成長できた点 荻原 優美菜 (薬学部1年)

今回初めてSTEPに参加して、私が成長できた点は二つあります。

一つは座学だけでは得ることが難しい、英語で話す力の向上です。STEPには英語で話す場面が多くあり、英語で話す練習を繰り返し行うことができました。二つ目は生の英語に触れることができた点です。英語村には様々な地域にルーツを持つネイティブの先生がいて、アメリカ訛りやスペイン訛りの英語を聴くことが

できました。リスニング教材で聞いている発音と全く違う英語に最初は戸惑いましたが、プログラムが終わるころにはコミュニケーションをとることができるようになっていたと思います。

今回STEPに参加して、日常生活や普段の大学生活では得ることができない英語体験をすることができました。今回の学びを糧に、より英語でのコミュニケーション能力の向上を目指して日々の研鑽に努めたいと思います。



事前に国際交流センター教育職員によるオンライン上でオリエンテーションを行ったことで、参加学生の不安解消の一助となった

## Why Fair Trade Help this World Better 磯田 明里 (看護専門学校1年)

初めに、「フェアトレード」と聞いて、皆さんは何をイメージするでしょうか。

私の場合、何となく「チョコレートとかにマークが書いてあるのは見たことあるかも」と、あまり深く考えていませんでした。しかし、プログラムに参加した後、フェアトレードがなぜこの世の中に並ぶ商品のマジョリティではないのか、なぜわざわざフェアトレードと主張しなければならないのかと考えるようになりました。この問題を解決していくには、そういったフェアではない状況にある人たちの存在を多くの人が知り、外か

らの力が一丸となって協力して手を差し伸べて初めて変わっていく問題なのだ気がつくことができました。私は、フェアトレードの商品を購入することで、自分ができる小さな国際協力を始めてみようと思います。

今回のSTEPを通じて、英語で伝えることの難しさと楽しさを学ぶことができ、また自分ができる国際協力を見つけることができました。

これからも国際交流センターを通して様々なプログラムに参加して、国際的な視野を広げていきたいです。



「SDGsの視点から世界の貧困問題を解決しよう」というテーマのディスカッションをやり遂げ、学生たちは達成感を味わった (TGG)



# i Information

詳細・更新情報は各部署へお問い合わせください。

## 総合情報管理センター

### Google容量制限化への対応について

本学のメールやドライブ、Classroomなどで利用頂いておりますGoogleサービス（Google Workspace）についての重要なお知らせです。

これまで教育機関においては保存容量に制限はありませんでしたが、2022年7月より1機関あたり約100TBの上限が設けられることになりました。

そのため、使用されることのない過去メールやGoogleドライブに保存された不要なデータ等につきましては、できるだけ削除下さるようお願い致します。

自身の使用量や過去メールの検索方法、今後の対応については順次ホームページでもお知らせします。

全体の使用量に大きな変化が無い場合など、今後の状況次第では1アカウントあたりの容量制限を設けさせて頂く可能性があります。

以上、ご協力のほどお願い申し上げます。

## 人事部

### 法改正によるiDeCo加入要件の変更について

2022年10月より、ライフプラン年金 確定拠出年金制度（企業型DC）に加入している方について、iDeCoの同時加入要件が緩和されましたので、お知らせします。

#### 【変更前（～2022年9月）】

・企業型DCに加入している方のiDeCoへの掛金拠出は認められていませんでした。

#### 【変更後（2022年10月～）】

- ・企業型DCに加入している方も、原則iDeCoに掛金拠出できるようになりました。
- ・iDeCoへの拠出限度額は、企業型DCの掛金額に応じて変動します。
- ・各月の①企業型DCの掛金、②iDeCoの掛金、③その合計額がそれぞれ以下のとおりであることが必要です。

①DC	最大2.75万円／月
②iDeCo	最大1.2万円／月
③①と②の合計	最大2.75万円／月

#### お問い合わせ 人事部給与厚生課

電話：03-3784-8015

### ハラスメント相談窓口のお知らせ

本学ではハラスメント問題の解決に向けて相談窓口を設置して

います。本学で働いている方であれば、職種や雇用形態を問わず（委託・派遣・非常勤も含む）どなたでもご利用いただけます。

1. 相談者のプライバシー保護を最優先し秘密を厳守します。
2. 相談したことによる報復・二次被害がないよう規程を定めています。

ハラスメントを「ゼツタイに許さない」風土づくりを目指しています！「ハラスメントかどうか分からないけれど話を聞いて欲しい…」「どうしたら解決できるか分からなくて辛い、アドバイスが欲しい…」「人間関係は壊したくない、相談することは秘密にしておきたい…」「当事者ではないが、見ていて辛い…」等、お悩みの方はお気軽にご相談ください。

#### お問い合わせ 人権啓発推進課

電話：03-3784-8963（直通）8:30-17:00（月）～（金）

メール：soudan@ofc.showa-u.ac.jp

## 総務部

### 「新型コロナウイルス感染防止に関する対応」の継続について

新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にありましたが、足踏み状態が続いています。基本的な感染防止対策を引き続き徹底し、自らが医療に負荷をかけることがないよう、一人ひとりが医療人としての自覚を持ち、新型コロナウイルスに感染するリスクのある行動は慎んでください。

【要請事項】（出典：東京都 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針「令和4年9月13日以降の感染拡大防止の取組」）

1. 混雑している場所や時間をできるだけ避け、三つの密（密閉・密集・密接）は回避してください。
2. こまめに、手洗いや手指消毒を行ってください。
3. 人と会話をする時や混雑する場所では、マスクの着用を徹底してください。
4. 食事の際は、食べるときだけマスクを外し、会話のときはマスクの着用を徹底してください。
5. 会食等で飲食店等を利用する場合は、極力、自治体の認証を得た飲食店や感染防止対策が徹底された施設を利用してください。認証店および感染防止対策が徹底された施設では、1テーブル当たりの人数制限はありません。

マスクの着用については、政府の考え方として、屋外・屋内において会話をほとんどしない場合、必要ないことが公表されていますが、本学施設内では、引き続きマスクの着用を徹底してください。

理事長 小口 勝司

## リカレントカレッジ事務局

### 令和4年度 昭和大学リカレントカレッジ 秋期プログラム開講

10月1日よりリカレントカレッジ秋期プログラムが開講しました。学歴や年齢を問わず、多くの方がリカレントカレッジという新たな学びの場で共に学んでいます。また、対面とオンラインを併用したハイブリッド型講座では、全国各地から受講生にご参加いただいています。

12月以降開講講座については、引き続き受講生を募集しています。ご興味のある講座がございましたら、お早めにお申し込みください。

#### 【12月開講】 申込締切：11月10日（木）

プログラム名（12月開講）	講師（敬称略）
【第4クール】オリンピックトレーナーが伝える40歳からのセルフコンディショニング	曾我 武史
自ら学ぶ“自ら守る” おとなのアレルギー・アナフィラキシーショック	鈴木 慎太郎 他

#### 【1月開講】 申込締切：12月11日（日）

プログラム名（1月開講）	講師（敬称略）
医療従事者のための英会話講座～応用編～	クリス・シリー 他
ICUにおけるリハビリテーション専門職の養成	田代 尚範 他
自然治癒力を高めましょう！ ～ストレス社会を軽やかに生きるために～	佐々木 晶子 他
保険診療って何？入門篇	本間 哲也



1 ハイブリッド講座でのグループワーク 2 実際に体を動かす体験型プログラム 3 シミュレーションセンターを使用した医療従事者向けの講座

リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。次号では、講義の様子を掲載します。

#### お問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務局

電話：03-3784-8143

## 総務部

### 昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

#### 【創立100周年に向けてへの寄付】

職員／木村 百合香 様

一般／アサヒ飲料販売株式会社 様

#### 【上條奨学基金への寄付】

職員／前田 真之 様

#### 【学術研究奨励基金】

職員／昭和大学医学部准教授講師会 様

#### 【教育研究協力資金への寄付】

父母／藤村 秀男 様

同窓／扇谷 芳光 様（医学部・63回生）

#### 【医学部への寄付】

同窓／高橋 章 様（医学部・62回生）

#### 【薬学部への寄付】

父母／鈴木 豊一 様

#### 【昭和大学病院への寄付】

職員／村上 幸三 様

#### 【昭和大学横浜市北部病院への寄付】

一般／匿名希望 様

#### 【学生等の留学・国際交流への寄付】

同窓／松田 吉人 様（医学部・64回生）、佐藤 敦 様

#### 【各クラブ・学生会への寄付】

父母／坂口 浩三 様（医学部・56回生）

同窓／鈴木 満 様（歯学部・1回生、薬学部・10回生）、医療法人社団 ジュン整形外科クリニック 様（医学部・69回生）

職員／稲富 誠 様

#### 【大学主催行事への寄付】

同窓／塩尻 泰宏 様（医学部・67回生）

※8月1日～9月30日

## 附属病院管理課・事務課

### 昭和大学各附属病院へのご支援の御礼

新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者に対して、多くの皆様から労いのお言葉や心温まるご支援を頂戴しております。お心遣いに深く感謝申し上げます。



現在、本学各附属病院では、医師、看護師の他、多くのスタッフが治療や院内感染防止に丸となって取り組んでおります。今後も私たちは皆様からのご支援を力に変え、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。

皆様からのご支援に対し、重ねて御礼申し上げます。

【ご支援くださった方々】

一般の方／長谷川 もも 様（フラワーデザイナー）

企業・団体／鮫英 様

株式会社銀座鈴屋 様

日和株式会社 様

【ご支援の内容】

フラワーアレンジメント、ドール、海鮮丼無料券、フルーツゼリー、水ようかん、トニックウォーター ※順不同 8月28日～10月7日

昭和大学学生会

第69回昭和大学学生会総会

日時／2022年12月3日(土) 13:00～17:00

会場／昭和大学4号館およびLive配信

1. 一般演題、学位論文内容発表
2. 年次報告
3. 昭和大学学生会学術奨励賞授与
4. 教育講演（Live配信も行います）

演題	演者
1) 日本一の医学教育カリキュラムを目指す昭和大学の挑戦 -授業をやめ、医療現場を経験すれば、学生は自ずから勉強する-	昭和大学医学部 医学教育学講座 教授 泉 美貴
2) PCRセンターからみた新型コロナウイルス感染症	昭和大学薬学部 臨床薬学講座 感染制御薬学部門 教授 石野 敬子
3) 富士吉田教育部の新英語教育カリキュラムについて -学部連携英語教育が目指すもの-	昭和大学富士吉田教育部 英語科 教授 高橋 留美

Live配信のお申込み等詳細は、昭和大学学生会ホームページにてご案内しています。



ダイバーシティ&インクルージョン推進室

ダイバーシティ&インクルージョン推進室からのお知らせ

教職員・学生の皆さんが、性別・年齢・働き方等の多様性を活かし、さらに活躍しやすい環境を作るため、学内にダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進室を設置しました。

【「ダイバーシティ&インクルージョン」とは？】

“多様性”と“包摂性”を意味します。

性別、年齢、障がい、国籍、性的指向・性自認、働き方などの違いを認め合いながら共に活躍するための考え方や取組を意味します。昭和大学は、多様性と包摂性が実現できる環境づくりを行うために、「昭和大学ダイバーシティ推進宣言」を制定しています。

【今後の活動とお問い合わせ】

D&I推進室では様々な支援・推進活動に取り組んでいきます。学業・仕事とライフイベントとの両立に関すること、病気との両立に関すること、LGBTQに関することなど、お気軽にお問い合わせください。また、今後こんな取組があったらいいな、という皆様のご意見がありましたらお知らせ下さい。

お問い合わせ ダイバーシティ&インクルージョン推進室

メール：div.incl@ofc.showa-u.ac.jp



今号の表紙写真

昭和大学の建学の精神『至誠一貫』が刻まれた木製の刻書が旗の台キャンパス1号館正面玄関に飾られています。本学の創立者・上條秀介博士が掲げたもので、「常に相手の立場にたつてまごころを尽くす」という実地を重んじた精神は、現在も色褪せることなく脈々と受け継がれています。

本作は、薬学部第1回生の新井平八郎氏が製作したもので、第40回記念深谷市美術家協会展の刻書の部で埼玉県知事賞を受賞しました。筆ではなくノミや彫刻刀で彫り出す筆致の深みに、一字一字の力強さと言葉の重みを感じられます。



SHOWA UNIVERSITY NEWS vol. 1

November 2022  
昭和大学新聞 通巻第610号  
令和4年11月10日発行  
年6回発行



学校法人 昭和大学 (03) 3784-8000  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

【本誌について】

発行人 | 小口 勝司

編集 | 総務課 大学広報係  
(03) 3784-8059  
press@ofc.showa-u.ac.jp

ご意見やご感想、各種情報をお待ちしています。

制作・印刷 | 株式会社ダイヤモンド・グラフィック社



【各種募金・寄付について】

企画課 | (03) 3784-8387

【学事について】

学務課 | (03) 3784-8022 (旗の台)  
(0555) 22-4403 (富士吉田)  
(045) 985-6503 (横浜)

大学院課 | (03) 3784-8793

入学支援課 | (03) 3784-8026